



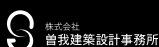
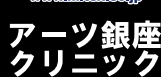
NILZZ

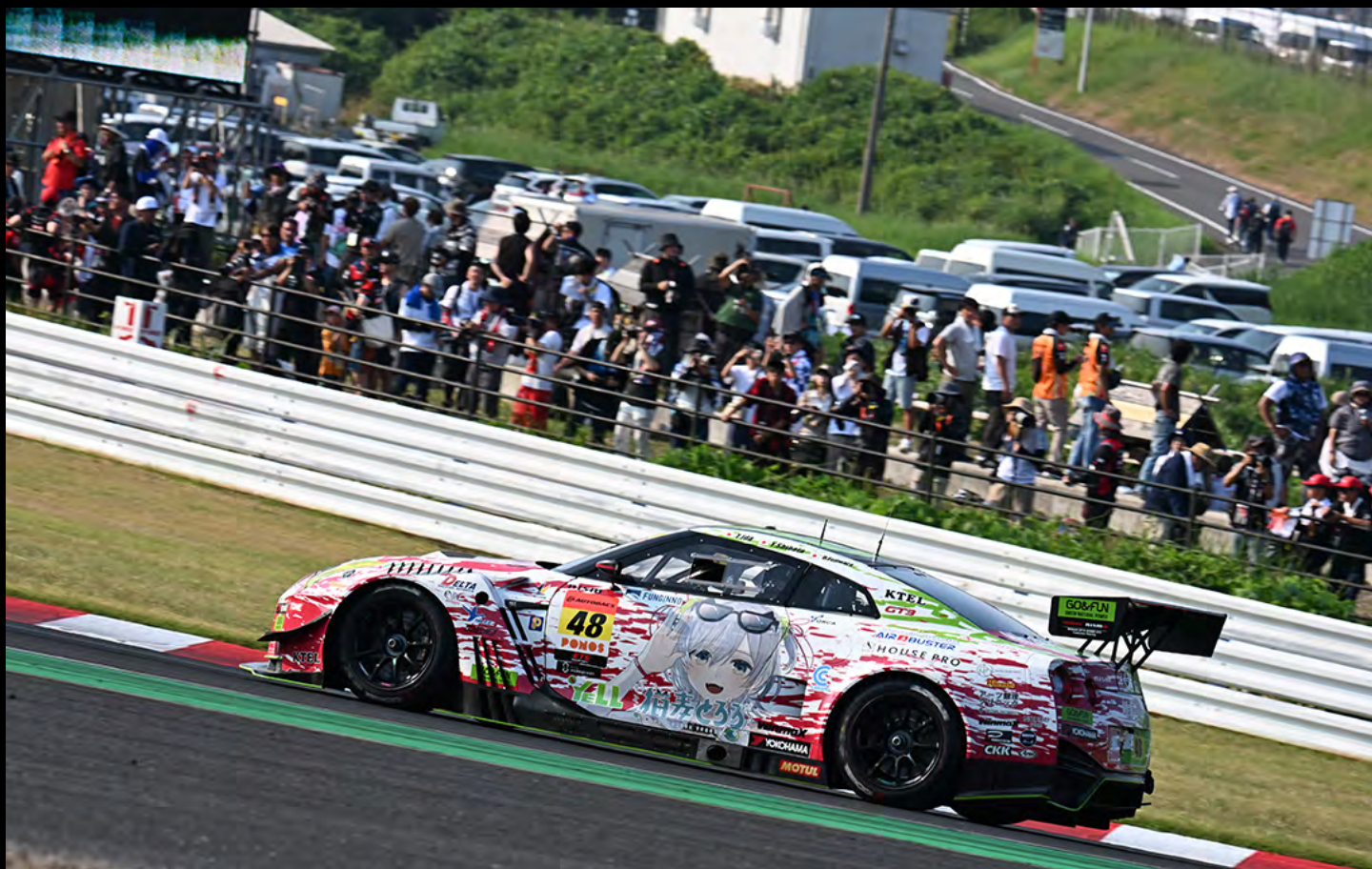
RACING FACTORY

SUZUKA GT 300KM RACE

2025 AUTOBACS SUPER GT Round.5 RACE REPORT

カテゴリー	: SUPER GT SERIES 2025 GT300 クラス	公式練習	: 2'01.612 (GT300 クラス 27 位)
エントラント	: NILZZ Racing	公式予選 Q1	: 1'59.716 (GT300 クラス A 組 13 位)
カーナンバー	: 48	公式予選 Q2	: ---
マシン名称	: 脱毛ケーズフロンティア GO&FUN 猫猫 GT-R	決勝	: GT300 クラス 22 位 (47 周)
ドライバー	: 井田太陽 / 柴田優作		
開催地	: 鈴鹿サーキット (三重県)		
開催日	: 2025.8.23~2025.8.24		
天候	: 晴れ (8.23) 晴れ (8.24)		
イベント動員数	: 19,000 人 (8.23) / 29,000 人 (8.24)		





SUPER GT シリーズ第 5 戦” SUZUKA GT 300KM RACE” が 8 月 23 日から 24 日にかけて、三重県の鈴鹿サーキットで開催され、NILZZ Racing は井田太陽と柴田優作をエントリーした。

8 月 23 日 (土) 公式練習

公式練習は直前の FIA F4 の遅延により、予定より 10 分遅れの 10 時 20 分から行われた。

上空は薄い雲があるが、天候は崩れる気配はなく、朝から非常に暑いコンディションとなった。

セッション序盤は柴田がステアリングを握り、セッティングを煮詰めていく。

セッティングに一定の方向性が見えたことから、セッション後半は井田が主体となってセッションを進めていく。

NILZZ Racing は大きなトラブルもなく計 35 周を計測。

柴田の 2 分 01 秒 612 がチームベストとなり、このセッションで GT300 クラス 27 位という結果となった。

8 月 23 日 (土) 公式予選

午後に入ると雲が少なくなり、暑さもより強まる中、15 時 15 分から公式予選が開始された。

GT300 クラスの公式予選 Q1 は 2 グループ制で行われ、NILZZ Racing は A 組からの出走。今回のアタッカーは柴田が担当する。

公式予選が開始となったが、直前のセッティング変更がずれ込み、残り時間 6 分 30 秒でコースイン。

最後の計測となるラップで 1 分 59 秒 716 を記録、GT300 クラス Q1 A 組予選は 13 位という結果に留まった。

その後行われた Q1 B 組予選、Q2 の結果により、NILZZ Racing は決勝レースを GT300 クラス 26 番手からスタートすることが決定した。





8月24日(日) 決勝

予選日以上に暑さが強まった感じの鈴鹿サーキット。陽が西に傾き出した 15 時 37 分、第 5 戦の決勝がスタートした。NILZZ Racing のスタートドライバーは井田が担当。

3 周目にシケインでクラッシュが発生したため、序盤からセーフティカー (SC) が入る。

ピットレーン入り口が解放され、チームは井田にピットインの指示を出す。

全車が低速で周回している間に、時間のかかる給油作業を行い、ロスタイムを減らす作戦をとった。

その後 SC は解除となり、16 周を過ぎたあたりから各チームでピットインの動きが激しくなる。

NILZZ Racing は井田にピットインまでの残り周回を無線で告げ、フルプッシュで走るよう指示を出す。

21 周目に井田がピットイン。ここで柴田にドライバー交代を行う。

このピット作業中に左側のインパクトレンチのトラブルが起こり、停止時間は伸びてしまう。

全ての作業を終えて、コースに復帰したが最後尾まで順位を落としてしまった。

ロングスティントを担当した柴田は猛暑の中で懸命にドライブを続け、47 周を終えたところでチェッカーフラッグを受け、NILZZ Racing は今回、GT300 クラス 22 位という結果となった。

猛暑の中のレースとなりましたが、完走を果たし、シリーズポイントを積み重ねることができました。

次戦は 9 月 20 日から 21 日にかけて宮城県のスポートランド SUGO となります。

2025 年シリーズも終盤に向けて、さらに激しいレースと予想されます。

引き続き皆様のご支援、ご声援を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

